

## 2019年度 一橋大学大学院経済学研究科

### 博士後期課程編入学生募集要項

一橋大学大学院経済学研究科では、本研究科の修士課程、本学の他研究科の修士課程、あるいは他大学の大学院の修士課程をすでに修了した上で、さらに高度な研究を行うことを希望する者を対象とする博士後期課程への編入学試験を行っています。この試験の受験者には、修士レベルの学力に加え、明確な研究テーマと、周到かつ具体的な研究計画を持っていることが強く期待されます。さらに、編入学後に博士論文作成のために必要な研究上のスキルを短期間で身につける心構えも要求されます。

#### 1. 募集人員

専攻	募集人員
総合経済学	22名

注) 募集人員には「進学生」と各種「編入学生」の募集人員を全て含みます。

#### 2. 出願資格

つぎの各号のいずれかに該当する者

- (1) 本研究科の修士課程専修コースに平成16年度(2004年度)以前に入学し、これを修了した者
- (2) 平成17年度(2005年度)以降に本研究科の修士課程に入学し、経済学研究科授業要綱に定められた博士後期課程への進学要件を満たさず修了した者
- (3) 他大学の大学院および本学大学院の他研究科の修士課程を修了した者および2019年3月までに修了見込みの者
- (4) 専門職大学院の課程を修了した者および2019年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2019年3月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2019年3月までに授与される見込みの者
- (7) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (8) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (9) 文部科学大臣の指定した者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者および2019年4月1日までに24歳に達する者
- (11) 所定の手続きにより、本研究科において、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

注1) 出願資格の(5)または(11)による志願者は、6月22日(金)までに経済学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。

注2) 出願資格(10)による志願者は、出願期間の前に個別の入学資格審査を行います。個別の入学資格審査に必要な書類等を交付しますので経済学研究科事務室に問い合わせてください。個別の入学資格審査に必要な書類の提出期間は、6月18日(月)から6月22日(金)までとします。入学資格審査結果は、7月17日(火)頃に通知する予定です。

### 3. 出願書類

	書類等	提出者	摘要
1	入学志願票	全員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
2	修士学位取得証明書	全員	出身大学の学長または研究科長が作成したもの。 上記出願資格(5)または(6)による志願者は修士課程の学位取得(見込)証明書。ただし、修士課程修了(見込)証明書に修士の学位取得(見込)に関する事項が記載されている場合は修士課程修了(見込)証明書をもってこれに代えます。
3	写真票	全員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
4	成績証明書	全員	出身大学等の学長または研究科長等が作成したもの。
5	学業評価書	全員	交付の用紙を用い、出身大学の指導教員もしくはこれに準ずる者が作成し、 <u>厳封</u> したもの(日本語または英語)。ただし、志願者の学習状況や研究能力等について十分な評価をなし得る者の学業評価書をもってこれに代えることができます。
6	「TOEFL」の成績証明書	全員	平成28(2016)年9月以降に実施された「TOEFL」の成績証明書。 (1) ETS から直接、一橋大学に公式の成績証明書が送付されるように手配してください。出願期間前必着です(本学の Institution Code は 0436。経済学研究科の Department code は 84)。 (2) ETS から志願者本人に送付された成績証明書の写しを提出してください。 *上記(1)(2)の <u>両方</u> が必要です。 *TOEFL テスト ITP スコアの使用は認めません。
7	受験票送付用封筒	全員	長形3号封筒(ハガキが入る大きさ)に、簡易書留相当分(392円)の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名、郵便番号を明記してください。
8	住民票の写し(またはパスポートの写し)	外国籍を有する者	市区町村長が交付する住民票の写し(在留期間、在留資格を明記したもの)を提出してください。ただし、住民票の写しの発行が不可能な場合のみ、代わりにパスポートの写しを提出してください。
9	経済学筆記試験受験科目登録票	全員	交付の用紙を用い、必要事項を記入し、受験を希望する1科目を選択してください。
10	検定料 30,000円	全員	検定料30,000円分を以下の口座へ振り込み、明細書の <u>写し</u> を出願書類と一緒に提出してください(原本を提出しても特に希望がなければ返却はいたしません)。 銀行名: 三井住友銀行 SWIFT Code: SMBC JP JT 支店名: 国立支店 口座名: 国立大学法人一橋大学経済学研究科検定料口 口座番号: 普通預金 7761762 なお、日本政府(文部科学省)奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。

注1) 志願者が記入する書類は、すべて黒または青のペンまたはボールペンで記入してください。

注2) 提出書類のうち英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語または英語訳を添付してください。

## 4. 出 願 方 法

- (1) 志願者は、上記の出願書類を一括し（書類は上から上記の番号順になるように封入してください）、郵送（書留郵便）により提出してください。書類を持参しての出願は受け付けません。封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書き、出願期間内に必着とします。ただし、出願期間を過ぎて到着したもののうち、7月30日（月）以前の消印のあるものは受け付けません。外国からの郵送は受け付けません。
- (2) 出 願 期 間  
2018年7月26日（木）から8月1日（水）まで
- (3) 出願書類の提出先  
〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院経済学研究科
- (4) 志願者には、出願に先立ち、本研究科に研究テーマについて指導可能な教員がいることを十分に確認し、事前に該当する教員に連絡を取ることを勧めます。ただし、教員への事前の連絡は出願要件ではありません。また、すべての出願は、事前の連絡の有無によらず公平に審査されます。

## 5. 選 考 方 法

筆記試験、書類審査および口述試験の結果を総合して合否を決定します。

## 6. 筆 記 試 験

筆記試験は経済学について実施し、ミクロ経済学、マクロ経済学、政治経済学、統計学・計量経済学、経済史の5科目から成ります。経済学の設問は日本語または英語で書かれています。

- ① 経済学の筆記試験は出願時に届け出た1科目を受験してください。出願時に届け出た科目以外を受験することはできません（出願後の受験科目変更は認めません）。英語による解答も認めます。詳細は <http://www1.econ.hit-u.ac.jp/office/bosyu/info/doc-info.pdf> にて確認してください。
- ② 教員によっては、博士後期課程の学生を演習（ゼミ）に受け入れて指導する際に、経済学筆記試験について、受験・合格が望ましい科目を指定するなど、特定の要件を課している場合があります。博士後期課程編入学後、希望する指導教員の演習に参加するためには、各教員の方針に従って受験科目を決定することが必要です。本試験に関する各教員の方針は、研究科ホームページ「開講科目> 講義要綱・時間割> 大学院開講科目・講義要綱」の演習欄を参照してください（<http://www.econ.hit-u.ac.jp>）。

### (1) 筆記試験期日・科目・時間

期 日	試験科目	試 験 時 間	備 考
2018年8月30日（木）	マ ク ロ 経 済 学	9：30～12：30	辞書の持ち込みは認めません。
	統計学・計量経済学 経 済 史	14：00～17：00	辞書の持ち込みは認めません。
2018年8月31日（金）	ミ ク ロ 経 済 学 政 治 経 済 学	9：30～12：30	辞書の持ち込みは認めません。

### (2) 試験室への入室

受験者は各試験の開始時間30分前までに試験室に入室し、指定された座席に着席してください。

### (3) 試験室の発表

筆記試験の試験室については、2018年8月29日（水）13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

### (4) 筆記試験合格者発表

2018年9月20日（木）13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

なお、合格者には個別に通知します。

## 7. 書類審査

筆記試験の合格者に対して、論文、成績証明書、学業評価書による書類審査と口述試験を行います。

- (1) 筆記試験合格者は、下記の修士論文、修士論文要旨、および研究計画書等を、郵送（書留郵便）により提出してください。書類を持参しての提出は受け付けません。封筒の表面左下に「大学院博士編入学口述試験書類在中」と朱書きし、提出期間内に必着とします。ただし、提出期間を過ぎて到着したもののうち、2019年1月10日（木）以前の消印のあるものは受け付けません。外国からの郵送は受け付けません。

提出期間 2019年1月7日（月）から 2019年1月15日（火）まで

- (2) 提出先

〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院経済学研究科

種 類 等	摘 要
修 士 論 文	修士論文またはそれを複写したもの4部。ただし、外国の大学の大学院等において、修士論文を提出せず、修士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者は、修士論文にかわる論文を提出してください（日本語および英語以外で書かれた論文は、原則として日本語または英語に全訳したものを添付してください）。なお、修士課程を修了した者については、修士論文の他に補充論文の提出を認めます。
修 士 論 文 要 旨	日本語または英語で書かれた修士論文の要旨4部。日本語の場合は8,000字程度にまとめ、A4判でワープロ等を使用し、1ページ1,000字程度。英語の場合は、A4判のダブル・スペースで7枚以内（ともに数式および表などを含む）。
研 究 計 画 書	日本語または英語で書かれた研究計画書4部。日本語の場合は、4,000字程度にまとめ、A4判でワープロ等を使用し、1ページ1,000字程度。英語の場合は、A4判のダブル・スペースで4枚以内（ともに数式および表などを含む）。研究計画書には、これまでの研究成果、および今後の研究計画（研究課題・目的・革新性・重要性・方法・参考文献等）について具体的かつ詳細に記述してください。

## 8. 口述試験

志願票に「英語による口述試験を希望する」と書いた受験者については、希望を考慮します。ただし、審査員が日本語での試験が必要と判断する場合には、その限りではありません。

- (1) 口述試験期日・時間・方法

期 日	試 験 時 間	試 験 方 法
2019年2月27日（水）	10:00～	研究計画書およびそれに関連する経済学の専門分野について口述試験を行います。

- (2) 試験室および時間割の発表

口述試験の試験室および時間割については、2019年2月22日（金）13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

## 9. 試験場

東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学

JR中央線 国立駅南口下車、南へ徒歩約10分

## 10. 合格者発表

2019年2月28日(木) 13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。  
なお、合格者には個別に通知します。

## 11. 入学手続き

### (1) 入学料の納入期間

2019年3月1日(金) から3月7日(木) まで  
この期間内に納入がない場合は、入学辞退者とみなされます。

### (2) 入学料の納入額

282,000円

出願時点で本学大学院修士課程または専門職学位課程に在学し、本研究科博士後期課程入学前に当該在学中の課程を修了見込みの者は、入学料は不要です。

注) 本学には、入学料の免除・徴収猶予の制度があります。入学料の免除・徴収猶予を希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受け、所定の期間内に申請を行ってください。入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。

### (3) その他

- ・入学手続きに必要な提出書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。
- ・日本国籍を有しない合格者は、入学までに、「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において大学院入学に支障のない在留資格を有することが必要です。
- ・外国政府派遣留学生については、入学手続き時に派遣元機関からの入学承諾書が必要です。・授業料(年額535,800円)については、入学後に納入することとなります。納入時期・納入方法については改めて通知します。
- ・入学金・授業料の納入金額は予定額であり、この納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

## 12. 注意事項

- (1) 入学試験に関する事務は、すべて経済学研究科事務室で行います。
- (2) 入学試験に関する照会は、書面、電子メール(ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp)または、ファックス(042-580-8195)で行ってください。電話による問い合わせには応じられません。
- (3) 障害等があつて、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち、経済学研究科事務室に必ず申し出て相談してください。
- (4) 試験の際には必ず受験票を持参してください。
- (5) 出願書類は返却しません。既納の検定料の払い戻しは行いません。また、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません(ただし検定料振込明細書、パスポートならびに本人用TOEFL成績証明書の写しを除く)。
- (6) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

※国際学生館景明館および国際学生宿舎(学生寮)について

本学国際学生館景明館および国際学生宿舎(学生寮)への入居希望者は、6月と12月(予定)に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。なお、6月は外国人留学生のみとなります。

▷日本人学生対象(日本への永住が許可されている者も含む)

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

▷外国人留学生対象（「留学」の在留資格を有する者又は取得できる見込みの者）  
[http://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/application\\_for\\_dorm/index.html](http://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/application_for_dorm/index.html)

学生区分により募集の資料の送付先や募集期間が異なります。  
十分に注意して、上記のページから確認して下さい。

受 験 番 号	※
------------------	---

2019年度一橋大学大学院経済学研究科  
 博士後期課程編入学試験  
 入学志願票

志望研究科 専攻名	経済学研究科      総合経済学 専攻	(研究題目)	
氏 名	19      年      月      日生	男 ・ 女  国籍	
	(ローマ字) _____ (Family name)          _____ (First name)		
写真貼付欄  1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽のもので、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。 2. 写真の裏面に志望研究科・氏名を記入すること。	出身大学院	大学大学院      研究科 _____      _____ 課程      専攻 _____      _____	
	現住所	〒	昭和 平成      年      月      修了 修了見込
		電話:	
		e-mail:	
	指導を希望する教員 ([      ]内に教員名を記入)	<input type="checkbox"/> いる [      ] <input type="checkbox"/> いない	
口述試験の際、英語による口述試験を希望するか	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない		
学 歴  ( 中 学 校 卒 業 か ら 記 入 す る こ と た だ し 外 国 人 は )  小 学 校 入 学 か ら 記 入 す る こ と	年      月		
	年      月		
	年      月		
	年      月		
	年      月		
	年      月		
	年      月		
	年      月		
職 歴	年      月		
	年      月		
	年      月		

記入上の注意 ① ※印欄には記入しないこと。  
 ② 性別、昭和・平成、修了・修了見込は該当するものを○で囲むこと。

2019年度  
一橋大学大学院博士後期課程  
入学試験写真票

経済学研究科	※ 受験番号
--------	-----------

氏 名	(ふりがな)	男 ・ 女
	(ローマ字)	
	年 月 日生	

**写真貼付欄**

1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。

2. 写真の裏面に志願研究科・氏名を記入すること。

経済学	※
口述	※

記入上の注意

- 1 ※印欄は記入しないこと
- 2 性別を○で囲むこと



受験番号 ※

※
---

氏名

(氏名を忘れずに記入してください)

## 2019年度 一橋大学大学院経済学研究科 博士後期課程編入学生募集

### 経済学筆記試験受験科目登録票

受験を希望する1科目を選択してください(受験希望科目欄に○印)。

本登録票をもって届け出た科目以外を受験することはできません(出願後の受験科目変更は認めません)。

受験希望科目 (○印を付ける)	試験科目
	ミクロ経済学
	マクロ経済学
	政治経済学
	統計学・計量経済学
	経済史

※印欄は記入しないこと。

# 学業評価書

志願者 氏名

記入欄

今までの学習状況や研究成果、将来の研究計画、志願者について特記すべき能力など参考となる点をなるべく具体的にご記入ください。

西暦 年 月 日

評価者 (大学名等)

(職名等)

氏名

Ⓔ

# 一橋大学大学院経済学研究科要覧

- 1 大学院は、一般的並びに専門的教養を基礎として、社会科学の専攻分野を究め、高い学識と研究能力を養うことによって広く文化の向上発展に寄与すること又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより社会に貢献することを目的及び使命とする。(学則第33条)
- 2 本学大学院経済学研究科には、下記に掲げる授業科目がある。

## ○コア科目

上級マイクロ経済学 中級マクロ経済学	上級マクロ経済学 中級計量経済学	上級計量経済学 上級政治経済学 I	比較経済史	中級マイクロ経済学
-----------------------	---------------------	----------------------	-------	-----------

## ○ミクロ経済学

上級マイクロ経済学 経済システム論 I・II 国際経済政策論 I・II 都市空間論 公共経済特論A～F 法と経済学 医療保険論 上級環境経済学 I・II 実験経済学 開発政策論 特別講義(アジア開発金融論)	中級マイクロ経済学 ゲーム理論 I・II 国際経済開発論 I・II 産業地理学 Contemporary Public Policy A～F 医療経済学セミナー 医療産業論 上級資源経済学 I・II 特別講義(Behavioral Topics) 開発途上地域論 開発援助論	上級理論経済学 I・II 特別講義(契約と組織の経済学) 上級労働経済学 I・II 経済立地論 I・II 医療経済分析 健康増進政策論・医学総論 上級技術経済学 I・II 上級開発経済学A～F 開発情報システム論 開発と環境	経済数学 I・II 特別講義(マーケット・デザイン) 人的資源論 経済社会空間論 租税理論 医療工学概論 医療管理政策論 環境・資源経済分析A～F 比較経済発展論 産業開発論 応用マイクロ経済学A～F	数理経済学 上級国際経済学 I・II 上級産業経済学 I・II 公共経済学 I・II 公共支出論A・B 医療経済論 II 保健医療活動とリスク管理 上級現代経済論 I・II 地域開発論 開発金融論
---	---	---	--	---

## ○マクロ経済学

上級マクロ経済学 上級現代経済論 I・II 特別講義(Value Investing in Asia)	中級マクロ経済学 国際通貨論	金融経済論 I(数値分析) 国際経済機構論	金融経済論 II(資産価格の実証分析) 国際経済関係論	応用マクロ経済学A～F
---	-------------------	--------------------------	--------------------------------	-------------

## ○経済統計・計量経済・情報数理

上級計量経済学 確率・統計特論A～F 特別講義(金融工学とリスクマネジメント) 数理解析 I・II	中級計量経済学 中級計量ファイナンス 古典解析	計量経済学特論A～F 計量ファイナンスA・B 経済データ分析論 応用数理	上級統計学 I・II ファイナンス経済論A・B 統計調査論 比較統計システム論	確率論 I・II 計量ファイナンス特論A～F 数理構造 I・II
--	-------------------------------	---	--	--

## ○政治経済学・経済思想

上級政治経済学 I・II 比較経済思想	経済体制特論 移行経済論	経済システム論 I・II 新興市場経済論	経済学史応用 I・II 各国経済思潮A・B	比較経済システム論
------------------------	-----------------	-------------------------	--------------------------	-----------

## ○経済史

比較経済史 東洋経済史	現代経済史 日本経済史	文明史 比較経済システム論	経済史特殊問題 比較経済発展論	西洋経済史
----------------	----------------	------------------	--------------------	-------

## ○地域経済

日本経済論 南アジア経済特論 地域経済各論(アメリカ) 移行経済論	地域経済論A～F 西アジア経済特論 地域経済各論(ヨーロッパ) 新興市場経済論	地域研究方法論 地域経済各論(日本) 地域経済各論(ロシア・中東欧) 各国経済思潮A・B	日本経済特論 地域経済各論(アジア・オセアニア) 地域開発論	東アジア経済特論 地域経済各論(アフリカ・中近東) 開発途上地域論
--	--	---	--------------------------------------	---

## ○語学・演習・ワークショップ等

Academic and Professional Presentations I・II 演習	ワークショップ	Research-Based Academic Writing I・II リサーチ・ワークショップ	インディペンデント・スタディ	経済学研究の日本語(留学生用)
--	---------	--	----------------	-----------------

- 3 修士課程では、2年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 4 博士後期課程は、3年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 5 いずれの課程においても、特に優秀と認められた学生には、特例として在学期間の短縮が認められる。

2019年度 一橋大学大学院経済学研究科担当教員一覧(予定)

[氏名]	[役職]	[専門分野]	[氏名]	[役職]	[専門分野]
阿部 修人 ABE, Naohito	教授	マクロ経済学、日本経済論、家計消費	岡田 羊祐 OKADA, Yosuke	教授	産業組織論、競争政策、規制政策
有本 寛 ARIMOTO, Yutaka	准教授	開発経済学、日本経済史、農業経済学	岡室 博之 OKAMURO, Hiroyuki	教授	産業組織論、企業経済学
榎本 武文 ENOMOTO, Takefumi	准教授	ルネサンス期における人文主義・修辞学、ルネサンス期における古典学研究	奥田 英信 OKUDA, Hidenobu	教授	開発金融論、開発経済学
深尾 京司 FUKAO, Kyoji	教授	マクロ経済学、経済発展論、国際経済学	小塩 隆士 OSHIO, Takashi	教授	公共経済学、社会保障
後藤 玲子 GOTOH, Reiko	教授	厚生経済学、経済思想・哲学	大月 康弘 OTSUKI, Yasuhiro	教授	経済史、西洋中世史、地中海地域研究
橋沼 克美 HASHINUMA, Katsumi	教授	各国経済思潮・英米	齊藤 誠 SAITO, Makoto	教授	マクロ経済学、金融経済学、ファイナンス理論
本田 衛子 HONDA, Eiko	准教授	社会保障論、医療経済	笹倉 一広 SASAKURA, Kazuhiro	准教授	各国経済思潮・中国
本田 敏雄 HONDA, Toshio	教授	数理統計学、計量経済学	佐藤 宏 SATO, Hiroshi	教授	中国経済論、中国現代史
井伊 雅子 II, Masako	教授	医療経済学、公共経済学	佐藤 正広 SATO, Masahiro	特任教授	近代日本社会経済史、近代日本統計調査史
今村 和宏 IMAMURA, Kazuhiro	准教授	日本語教授法、社会科学の日本語	佐藤 主光 SATO, Motohiro	教授	財政学、公共経済学
石川 城太 ISHIKAWA, Jota	教授	国際経済学、産業組織論	塩路 悦朗 SHIOJI, Etsuro	教授	マクロ経済学、日本のマクロ経済
石倉 雅男 ISHIKURA, Masao	教授	政治経済学、経済学史	杉田 洋一 SUGITA, Yoichi	講師	国際貿易論、産業組織論
磯部 健志 ISOBE, Takeshi	教授	数学、解析学	多鹿 智哉 TAJIKA, Tomoya	講師	ゲーム理論、政治経済学、組織の経済学
祝迫 得夫 IWASAKO, Tokuo	教授	ファイナンス、実証マクロ経済学	高柳 友彦 TAKAYANAGI, Tomohiko	講師	近現代日本経済史、近現代日本史
岩崎 一郎 IWASAKI, Ichiro	教授	比較経済論、移行経済論	武田 真彦 TAKEDA, Masahiko	教授	金融論、金融政策論
陣内 了 JINNAI, Ryo	准教授	マクロ経済学、金融論	武岡 則男 TAKEOKA, Norio	教授	意思決定理論、ミクロ経済学
神林 龍 KAMBAYASHI, Ryo	教授	労働経済学、経済発展、法と経済学	竹内 幹 TAKEUCHI, Kan	准教授	公共経済学、実験経済学
加納 隆 KANO, Takashi	教授	マクロ経済学、国際金融論	田中 万理 TANAKA, Mari	講師	開発経済学、労働経済学、国際貿易
北村 行伸 KITAMURA, Yukinobu	教授	応用計量経済学、ミクロ計量経済学、公共経済学	富浦 英一 TOMIURA, Eiichi	教授	国際経済学、応用計量経済学、日本貿易産業論
雲 和広 KUMO, Kazuhiro	教授	移行経済論、ロシア経済論	友部 謙一 TOMOBE, Kenichi	教授	日本経済史近世以降、歴史人口学
黒崎 卓 KUROSAKI, Takashi	教授	開発経済学、農業経済学、アジア経済論	津田 照久 TSUDA, Teruhisa	教授	数学、複素領域の微分方程式
黒住 英司 KUROZUMI, Eiji	教授	時系列分析、計量経済学	都留 康 TSURU, Tsuyoshi	特任教授	人事経済学、人的資源論
桑名 陽一 KUWANA, Yoichi	准教授	数理統計学、応用確率論	堤 雅彦 TSUTSUMI, Masahiko	准教授	経済政策論(国際経済、マクロ経済、日本経済、社会保障)
馬 欣欣 MA, Xinxin	准教授	中国経済論、労働経済学	植杉 威一郎 UESUGI, Ichihiro	教授	企業金融、中小企業、日本経済
真野 裕吉 MANO, Yukichi	准教授	開発経済学、地域経済学	宇井 貴志 UI, Takashi	教授	ミクロ経済学、ゲーム理論
増田 一八 MASUDA, Kazuya	講師	開発経済学、教育経済学、医療経済学	宇南山 卓 UNAYAMA, Takashi	准教授	日本経済論、応用計量経済学
松下 幸敏 MATSUSHITA, Yukitoshi	准教授	計量経済学	白井 恵美子 USUI, Emiko	准教授	労働経済学、応用計量経済学
南 裕子 MINAMI, Yuko	准教授	現代中国社会論、地域社会学	渡辺 智之 WATANABE, Satoshi	教授	財政学、租税法、法と経済学
森 直人 MORI, Takahito	准教授	西洋経済史、ヨーロッパ都市史	渡部 敏明 WATANABE, Toshiaki	教授	計量ファイナンス、マクロ計量分析
森口 千晶 MORIGUCHI, Chiaki	教授	比較経済史、比較制度分析、家族の経済学	山田 俊皓 YAMADA, Toshihiro	准教授	確率数値解析、ファイナンス数学
森田 穂高 MORITA, Hodaka	教授	産業組織論、組織経済学	山本 庸平 YAMAMOTO, Yohei	教授	計量経済学、マクロ経済分析、国際金融
中山 能力 NAKAYAMA, Chikara	教授	数学、代数学	山重 慎二 YAMASHIGE, Shinji	教授	財政学、公共経済学、社会政策
西出 勝正 NISHIDE, Katsumasa	教授	金融工学、金融経済学	山下 英俊 YAMASHITA, Hidetoshi	准教授	環境・資源経済学、廃棄物政策、エネルギー政策
岡部 智人 OKABE, Tomohito	講師	マクロ経済学、政治経済学	横山 泉 YOKOYAMA, Izumi	准教授	労働経済学、応用計量経済学

○教員の詳細については、以下ウェブページを参照してください。

<https://hri.ad.hit-u.ac.jp>